

平成 28 年 度

入 学 者 選 抜 要 項

環 境 科 学 部

環 境 生 態 学 科
環 境 政 策 ・ 計 画 学 科
環 境 建 築 デ ザ イ ン 学 科
生 物 資 源 管 理 学 科

工 学 部

材 料 科 学 科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科
電 子 シ ス テ ム 工 学 科

人 間 文 化 学 部

地 域 文 化 学 科
生 活 デ ザ イ ン 学 科
生 活 栄 養 学 科
人 間 関 係 学 科
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科

人 間 看 護 学 部

人 間 看 護 学 科



公立大学法人

滋 賀 県 立 大 学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

PC サイト <http://www.usp.ac.jp/>

携帯 サイト <http://daigakuje.jp/usp/>



目 次

大学の目標／教育の特色	1
Ⅰ 本学が求める学生像(アドミッション・ポリシー)	2
Ⅱ 入学者選抜における変更内容	6
Ⅲ 入学定員と募集人員	8
Ⅳ 一般選抜	9
Ⅴ 特別選抜	18
A 推薦入学選抜	18
B 帰国子女特別選抜	24
C 私費外国人留学生特別選抜	28
Ⅵ 心身に障がいのある入学志願者との事前相談	29
Ⅶ 学生募集要項の発表時期および請求方法	30
入学資格審査の手続き	32

問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学教務グループ入試室

TEL：0749-28-8217・8243 FAX：0749-28-8472

E-mail：nyushi@office.usp.ac.jp

大 学 の 目 標

滋賀県立大学は、滋賀県における学術の中心として、未来を志向した高度な学芸と、悠久の歴史や豊かな自然、風土に培われた文化を深く教授研究するとともに、新しい時代を切り拓く広い視野と豊かな創造力、先進的な知識、技術を有する有為の人材を養成することを目的としています。

また、開かれた大学として、県民の知的欲求に応える生涯学習の機会の提供や地域環境の保全、学術文化の振興、産業の発展、人間の健康など、滋賀県の持続的発展の原動力として大きく寄与することを使命としています。

この大学設置の基本理念を踏まえ、次の基本的な目標を定めています。

- ・「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」という開学当初からのモットーをより一層発展させ、琵琶湖を抱く滋賀ならではの教育研究をさらに進めます。
- ・時代の流れを先取りし、先駆的・戦略的なものの見方ができる、進取の気性に富む人が育つ大学づくりを進めます。
- ・グローバル化の進展等による国際化の諸問題に対応する新しい時代に向けたモデルとなる大学を目指します。

教 育 の 特 色

(1) 4年一貫教育

より確かな知識と技術の修得を目指し、各学部別にその目的に従った個性的な教育を系統的に実施するため、専門科目を4年間にわたって一貫して編成する完全な4年一貫教育を実施します。これにより、それぞれの学部に入學した学生は、1年次から専門分野の講義を受けることができます。

(2) 目標を明確にした基礎教育の重視

全学部に通じる全学共通基礎科目、学部の専門的な共通基礎科目、および学科の基礎科目が、すべて各学部・学科の教育目標に合わせて選ばれており、最も適切な年次に学ぶことができるようになっています。

(3) 人間を深く見つめる「人間学」

全学共通科目の中で、人間・環境・社会・文化を知る「人間学」が4年間いつでも履修できます。目まぐるしく変化する現代社会の中で、人間と環境、社会、文化を深く理解し、人間というものを深く見つめ、生き方を探るのが「人間学」です。人間探求学を1年次の必修とし、入門・概説ではなく、現実の問題に立論して、ひとつの見解に達するまでのプロセスを追求する様々な科目を選択科目としています。

(4) 変革力を身につける「地域教育」

地域と大学が人材を共育し、地域を共創する自立圏域「びわ湖ナレッジ・コモンズ」の形成をめざし、地域課題に対する教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

地域教育では、全学共通科目の地域基礎科目、各学部・学科の地域志向専門科目、全学部生が選択可能な地域学副専攻を通して地域課題とその解決法について体系的に学び、コミュニケーション力、構想力および実践力を兼ね備えた変革力を身につけることを目指します。

(5) 少人数による対話・討論型の授業

教員と学生の日常的な触れ合いを重視するという基本方針のもとに、フィールドワークや実験・実習などにおいて、少人数による対話・討論型の授業が多くあります。

例えば、1年次の必修科目である「人間探求学」は、学科ごとに5、6名のグループに分け、大学で学ぶために必要な能力を養うことをねらいとし、教育の原点である人間と人間のふれあいの機会を提供しています。

(6) 他学部・他学科の履修

学生の多様な学習意欲に応えるために、学部・学科の多様性を生かし、他学部、他学科で修得した単位を卒業単位として認定し、より幅の広い人材の育成を目指します。

I 本学が求める学生像（アドミッション・ポリシー）

滋賀県立大学は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の4学部からなり、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「環境」と「人間」をキーワードにした「人が育つ」大学として、平成7年に設立されました。琵琶湖に隣接し、緑豊かな自然環境のなかで、近江の歴史や多様な文化・産業を背景に、「地域に根ざし、地域に学ぶ」実践的教育が展開されています。

本学の学生は、各学部・学科が掲げている人材養成の目標に向かって、体系的に配置された授業科目を段階的に学びながら自己形成に努めます。このために必要な基礎的学力や応用力、適応性あるいは学習意欲に関して、本学では次の3種類の入学試験を行っています。

- (1) 一般選抜試験・前期日程（センター試験と個別学力試験を併用した、幅広い基礎学力についての選抜試験）
- (2) 一般選抜試験・後期日程（センター試験と学科の専門を反映させた個別試験を併用した、専門分野に関わる学力についての選抜試験）
- (3) 特別選抜（総合問題、実技試験あるいはセンター試験と面接とを併用した、学力および適正や学習意欲についての選抜試験）

本学において積極的に学び、自らの将来像の実現を目指そうとする意欲的な学生を求めています。

環境科学部

21世紀の地球が直面している環境問題は、人類の英知を結集して解決すべき課題のひとつです。環境科学部は環境課題に取り組む幅広い学術研究の推進と、創造性豊かな人材の育成を目指しています。学生は教室において環境基礎から専門にいたる科目を体系的に学ぶ一方、琵琶湖とその周辺地域をフィールドとする調査、観察、実習を通して実践的な環境応用力を身につけます。環境リーダーを目指す若者の入学を期待しています。

環境生態学科

環境生態学科は、自然環境の総合的理解と環境中で生じている問題の解決を目指しています。この理念に基づき、琵琶湖とその流域（集水域）の環境を実地に利用した授業が数多くあります。また学生には、自然と人間が複雑に関わりあう環境での問題を発見し、その科学的解決法を提案することを求めます。そのため、理科および数学など自然科学についての知識を持つとともに、環境科学を学ぶ上で必要な国語・英語・地理歴史・公民などの基礎学力を持った人、あるいは自分の力で洞察する能力の高い人を求めます。

環境政策・計画学科

環境政策・計画学科は、環境と調和した社会を形成するために、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に変革していく人材を養成します。そのために、社会科学や自然科学に基づいて環境政策・計画を策定する能力と、実践の技法とを身につけるための教育を行っています。地理歴史・公民・理科など、人間社会と自然環境の広い範囲にわたって関心を有するとともに、これらを学ぶ上で必要な国語・数学・英語の基礎学力を身につけた人を求めます。

環境建築デザイン学科

環境建築デザイン学科は、持続的発展可能な社会の建設のために、建築学を基礎に、建築を巡る環境や地域が抱えるさまざまな課題を発見、理解し、解決する能力をもった人材の育成を目標としています。そのため、都市、地域、景観、防災、資源、エネルギーなど広い視野から横断的に建築デザインを学ぶ必要があります。これに向けて本学科志望者は数学、理科の理系の教科と同時に、国語、英語、地理歴史・公民の文系の教科も十分に学習しておく必要があります。更に芸術、家庭の教科などを通して、感性や表現力を高めることも大切です。これらの基礎の上に、環境建築デザインの知識、能力、倫理観、創造力を職能として身につけ、社会で活躍・貢献したいという意欲ある人を求めます。

生物資源管理学科

生物資源管理学科は、生物資源と環境に関わる幅広い視野と知識を持ち、農林水産業などの生物資源生産と生物資源循環、生物資源生産・循環に関わる土壌・水資源の保全と活用、生物機能を用いた物質生産や環境改善など、生物資源の管理と活用に関する基本的な知識と技術を有する人材の養成を目的としています。地域における循環型社会を支えるうえで、生物生産と生物機能が重要な役割を果たすと考えています。そのため、これらの課題について学ぶ意欲を示し、これらを学ぶための理科、数学、外国語等の基礎的学力を有し、柔軟な思考と積極的行動力をもつ人を求めます。

工学部

工学部では、21 世紀の「ものづくり」において、人と自然環境に調和した新しい科学技術の創造と豊かな社会の構築を目指した国際的に活躍できる人材の育成を行うとともに、先進的な研究を通じて人類の発展に貢献し、我が国および地域の文化と産業の拠点としての役割を果たすことを理念として、教育、研究、社会貢献に努めています。この理念に沿って、「ものづくり」に興味を持って何事にも意欲的に取り組む人、必要な基礎学力を持つとともに専門知識の習得に努め、独創的な科学技術を創造する人、国際的な視野を持って、工学の分野の発展に貢献したいという強い意志を持っている人を求めます。

材料科学科

材料科学科は、環境と調和した持続可能な人間社会の構築を目指し、科学技術に裏打ちされた材料の進歩に貢献できる、研究者・技術者の養成を目的としています。そのため本学科では、数学・物理・化学などの自然科学を基礎に、無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料など様々な用途について、学問的基盤の理解と実験や演習などによるスキル修得の両面から学びます。そこで、高等学校で学ぶ数学、理科（特に、物理と化学）、国語、英語、地理歴史・公民の科目に関して、材料に関する研究者・技術者となるための専門的内容と判断力の修得に必要な高等学校理系コース卒業レベルの学力を有するとともに、「ものづくり」や新材料に興味を持ち、地域から世界までの社会に専門家として貢献したい人を求めます。

機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の基礎とシステム的なセンスを備え、高機能な機械を設計・開発でき、柔軟な発想能力の備わった技術者の養成を目指しています。そのために、機械工学の基幹となる熱力学、流体力学、材料力学、機械力学の4力学に、制御工学、情報処理基礎、メカトロニクス、生産工学などの幅広い科目を加え、さらに多くの演習や実験を取り入れたカリキュラムによって、基礎から応用にわたる多面的な教育を行います。したがって、本学科で学ぶ上で必要となる基礎学力として、高等学校で履修する数学、理科（特に、物理と化学）、国語、英語、地理歴史・公民の各科目において、高等学校理系コースの卒業レベルの学力を備えるとともに、「ものづくり」に関心を持ち、自己の能力向上を目指し、さらに技術開発に独創性を発揮できる学生を求めます。

電子システム工学科

電子システム工学科は、電気・電子・情報工学分野で基礎から応用まで幅広い知識と高度な技術をもつとともに、豊かな人間性とコミュニケーション能力および問題解決能力を身につけた、地域はもとより世界に通用する創造力豊かで自律した技術者の育成を目指しています。このため、本学科では、高等学校で学ぶ数学、理科（特に、物理と化学）、国語、英語、地理歴史・公民の科目に関して、電気・電子・情報工学分野の技術者に要求される専門知識・能力および教養を修得するために必要となる、高等学校理系コースの卒業レベルの学力を有するとともに、電気・電子・情報工学分野に夢や魅力を感じ、基礎から応用まで幅広い素養を身につけて積極的に活躍していきたい人、知的好奇心をもって常に新しいことに挑戦し、専門分野を通して積極的に社会に貢献していきたい人を求めます。

人間文化学部

人間文化学部は、文化の視点から、人間の活動を捉えかえし、一方では、人々が活動する「地域」を、個性豊かで確かさを実感できる生活空間として再生させるとともに、他方では、新しい生活観、生活のスタイル・生活のあり方を生み出すことを目指しています。

そのためには、異文化理解に基づく、地域研究の基礎づけに合わせて、最先端の生活科学が切り開いた、知と技能の確保も不可欠です。先例に学びつつ、新たな未来を構想する本学部は、何よりも人間という存在に関心を持ち、常識にとらわれない自由な発想と、柔軟な思考、積極的な行動力をそなえた人を求めます。

地域文化学科

地域文化学科は、環琵琶湖地域を核とした日本を中心に、密接な交流の歴史を有する中国・朝鮮をも視野において、これらの社会に関わる過去と現在の諸問題を学びます。そのために、社会を分析するさまざまな方法を習得し、フィールドワークを通じて、それぞれの地域に生きる人々の姿を見つめ、これからの地域のあり方について研究します。入学者には、これらの基礎となる国語・英語・地理歴史・公民の科目の学力を有し、歴史・文化・社会に強い関心を持って、自ら行動し、学んだことを地域に還元し、社会貢献できる学生を求めます。

生活デザイン学科

生活デザイン学科では、人間に最も身近な生活環境としての住居・道具・服飾のデザインの理論と実践を学びます。身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を考え、造形的・論理的に表現できる能力を身に付け社会で活躍したいと考える人を求めています。そのために必要な基礎学力（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）、表現力、そして柔軟な思考と積極的な行動力を持った人の入学を期待します。

生活栄養学科

生活栄養学科は、食物を介して栄養が健康に寄与するという意識を基盤として、人の健康に貢献する高度な専門職業人を養成します。そのために、基礎知識の習得および実践に至る実験・実習科目を重視し、栄養学に関して基礎から応用にわたる多面的な教育・研究を行います。これらの基礎となる数学、化学、生物、英語の学力を有するとともに、食、栄養、運動、健康の関わりに興味を持ち、自己の能力向上ならびに社会的貢献に意欲のある人を求めます。

人間関係学科

人間関係学科は、心理学、社会学、教育学など人間関係論にかかわる各分野の教育・研究を通じて、人間らしい心の発達と生きがいの感じられる生活や社会システムの構築に参加できる人材の養成をめざしています。そこで、「心の発達と人とのかかわり」「コミュニケーションと社会・文化の形成」「生涯にわたる発達と教育的援助」などの諸問題に関心をもち、少人数ゼミにおける積極的な討論や、様々な実験、調査、分析などを通じて主体的、創造的に学習や研究をしたいと考えている人を求めます。このため、入学者には、これらの基礎となる国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語をはじめとした幅広い学力をバランスよく備えていることが期待されます。

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、国際化する現代社会において、広く活躍することのできる見識とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的としています。そのため、英語または他の外国語についての学力を有し、また幅広い知識や教養の基盤となる国語、地理歴史・公民、数学、理科についての基礎的な学力を有する学生を求めます。

人間看護学部

人間看護学科

人間看護学部は、「人が人として生きていく」その生き方を支える看護のあり方を追求し、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決し、地域に貢献できる看護職者を養成します。このため、看護学や医学について学術的・実践科学的な教育・研究を行います。入学生には、生命への畏敬の念をもち、生物・化学・数学・英語などの基礎学力を基に、看護職として自己の能力向上を目指す人を求めます。

Ⅱ 入学者選抜における変更内容 (平成27年度入学者選抜からの変更点)

1. 特別選抜試験における大学入試センター試験の利用

環境科学部環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科、工学部材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、生活栄養学科の推薦入学選抜および帰国子女特別選抜において、本学が行う学力検査（総合問題）に代えて、大学入試センター試験の成績を利用します。

2. 特別選抜における選抜方法の変更

- (1) 工学部材料科学科の特別選抜（推薦入学A、推薦入学B、帰国子女および私費外国人留学生）において、個別面接時にアドミッション・ポリシーに添った口頭試問を実施します。
- (2) 環境科学部環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科および人間文化学部生活栄養学科の私費外国人留学生特別選抜について次のとおり選抜方法を変更します。

環境科学部環境政策・計画学科

【平成27年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
環 境 科 学 部	環境政策・ 計画学科	日本留学試験の成績、総合問題および出願書類などに基づく面接による総合判定



【平成28年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
環 境 科 学 部	環境政策・ 計画学科	日本留学試験の成績、 <u>英語</u> および出願書類などに基づく面接による総合判定

環境科学部環境建築デザイン学科

【平成27年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
環 境 科 学 部	環境建築 デザイン学科	日本留学試験の成績、総合問題および出願書類などに基づく面接による総合判定



【平成28年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
環 境 科 学 部	環境建築 デザイン学科	<u>日本留学試験の成績</u> および出願書類などに基づく面接による総合判定

人間文化学部生活栄養学科

【平成27年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
人間文化 学 部	生活栄養学科	日本留学試験の成績、総合問題および出願書類などに基づく面接（口頭試問を実施）による総合判定



【平成28年度入学者選抜】

学 部	学 科	選抜方法
人間文化 学 部	生活栄養学科	日本留学試験の成績、 <u>英語</u> および出願書類などに基づく面接（口頭試問を実施）による総合判定

3. 試験時間の一部変更

人間文化学部生活デザイン学科、人間関係学科および国際コミュニケーション学科の一般選抜前期日程における個別学力検査の試験時間を次のとおり変更します

【平成27年度入学者選抜】

科目名	試験時間
英 語	90分
国 語	90分



【平成28年度入学者選抜】

科目名	試験時間
英 語	90分
国 語	<u>60分</u>

Ⅲ 平成２８年度入学者選抜 入学定員と募集人員

学 部 名	入学定員	募 集 人 員					
		一 般 選 抜		特 別 選 抜			
		前期日程	後期日程	推薦入学A	推薦入学B	帰国子女	私費外国人留学生
環 境 科 学 部	180 人	90 人	54 人	36 人	—	—	—
環境生態学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	若干名	若干名
環境政策・計画学科	40 人	20 人	12 人	8 人	—	若干名	若干名
環境建築デザイン学科	50 人	25 人	15 人	10 人	—	若干名	若干名
生物資源管理学科	60 人	30 人	18 人	12 人	—	若干名	若干名
工 学 部	150 人	70 人	50 人	30 人	—	—	—
材料科学科	50 人	20 人	20 人	10 人	若干名	若干名	若干名
機械システム工学科	50 人	25 人	15 人	10 人	若干名	若干名	若干名
電子システム工学科	50 人	25 人	15 人	10 人	若干名	若干名	若干名
人間文化学部	200 人	100 人	60 人	40 人	—	—	—
地域文化学科	60 人	30 人	18 人	12 人	—	若干名	若干名
生活デザイン学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	若干名	若干名
生活栄養学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	若干名	若干名
人間関係学科	30 人	15 人	9 人	6 人	—	若干名	若干名
国際コミュニケーション学科	50 人	25 人	15 人	10 人	—	若干名	若干名
人間看護学部	70 人	40 人	10 人	20 人	—	若干名	—
人間看護学科							
計	600 人	300 人	174 人	126 人	—	—	—

- (注) 1 一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
- 2 「推薦入学A」は、高等学校を平成２７年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。
- 3 「推薦入学B」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を平成２７年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。ただし、工業に関する科目を２０単位以上取得した者または取得込みの者に限ります。
- 4 特別選抜の合格者数は、試験結果によって、募集人員を下回る場合があります。

Ⅳ 一般選抜

1 出願資格

平成28年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者で平成28年3月31日までに18歳に達するもの

具体的に(3)に該当するものは次のとおりです。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑥ その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※上記⑥により出願を希望する者については、出願前に本学の個別の入学資格審査により、その認定を受ける必要があるので、32ページの「入学資格審査の手続き」により行ってください。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
前期日程	平成28年1月25日(月)～ 平成28年2月3日(水)	平成28年2月25日(木)	平成28年3月8日(火)
後期日程		平成28年3月12日(土)	平成28年3月22日(火)

3 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験および個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

なお、大学入試センター試験で指定した教科・科目を受験しなかった場合は、出願しても失格となり、合格者となることはできません。

4 入学者選抜の実施教科・科目および配点について

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別選抜 方法等			
		教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	時間	試験の区分	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語		総 合	実 技	配点 合計
環境科学部 環境生態 学科 30人 前期15 後期9 その他6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から2 『英』	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』	120	センター 試験	100	100	100	100	200			600	推薦 帰国子女 外国人
		数		理	『物基礎・物』、『化基礎・化』、『生基礎・生』 から2	120	個別学力 検査			200	200				400	
		理 外					計	100	100	300	300	200			1000	
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から2 『英』	理	『物基礎・物』、『化基礎・化』、『生基礎・生』 から2	120	センター 試験	100	50	100	100	200			550	追加合格
		数					個別学力 検査				400				400	
		理 外					計	100	50	100	500	200			950	
環境科学部 環境政策・ 計画学科 40人 前期20 後期12 その他8	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経Ⅰ』、『倫・政経Ⅰ』から1 『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』から2 『物基礎』、『化基礎』、『生基礎』、『地学基礎』から2 または『物』、『化』、『生』、『地学』から1 『英』	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ』 から1教科	120 90	センター 試験	100	100	200	100	100			600	推薦 帰国子女 外国人
		数					個別学力 検査			*200		*200			200	
		理 外					計	100	100	*400	100	*300			800	
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経Ⅰ』、『倫・政経Ⅰ』から1 『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』から2 『物基礎』、『化基礎』、『生基礎』、『地学基礎』から2 または『物』、『化』、『生』、『地学』から1 『英』	その他	総合問題（文章、言葉、図などの素材を材料に、 論述やフローチャート作成などによる問題理解力、 表現力の考查を行う。）	120	センター 試験	100	100	200	100	100			600	追加合格
		数					個別学力 検査						400		400	
		理 外					計	100	100	200	100	100	400		1000	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等			大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等								特 別 選 抜 方法等			
		教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	時 間	試験の区分	国語	歴史・公民	数 学	理 科	外国語	総 合	実 技		配点 合計		
環境科学部 環境建築 デザイン 学科 50人 前期25 後期15 その他10	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』 から2 『英』	数 理 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・ 英語表現Ⅱ」	120 120 90	センター 試験 個別学力 検査 計	100 100 100	100 100 100	100 200 200	200 200 400	100 200 300			600 600 1200	推薦 帰国子女 外国人 追加合格		
		国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』 から2 『英』	その他	造形実技（基礎造形、デッサンなどの実技に より、空間に関わる理解力、構想力、創造 力、構成力、表現力をみる。）	120	センター 試験 個別学力 検査 計	100 100 100	100 100 100	100 200 200	200 200 300	100 200 300			600 300 900			
	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から2 『物』、『化』、『生』、『地学』から2 『英』	数 理 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「物基礎・物」,「化基礎・化」,「生基礎・生」 から1	120 120	センター 試験 個別学力 検査 計	200 200 200	100 100 100	100 100 300	100 200 300	200 200 200	100 200 1100				700 400 1100	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から1 『英』	数 理 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「物基礎・物」,「化基礎・化」,「生基礎・生」 から1	120	センター 試験 個別学力 検査 計	100 100 100	100 100 100	100 100 300	100 200 300	100 200 100				500 400 900	
環境科学部 生物資源管 理学科 60人 前期30 後期18 その他12	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から1 『英』	数 理 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「物基礎・物」,「化基礎・化」,「生基礎・生」 から1	120	センター 試験 個別学力 検査 計	100 100 100	100 100 100	100 100 300	100 200 300	100 200 100			500 400 900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格		
		国 地歴 公民 数 理 外	『国』 『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』、 『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』 から1 『数I』、『数I・数A』、『数II』、『数II・数B』、『簿』、 『情報』、『(工)※』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から1 『英』	数 理 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「物基礎・物」,「化基礎・化」,「生基礎・生」 から1	120	センター 試験 個別学力 検査 計	100 100 100	100 100 100	100 100 300	100 200 300	100 200 100			500 400 900			

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別選抜 方法等	
		教科	科目名等	教科	科目名等	時間	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	総合	実技		配点 合計
工学部 材料科学科 50人 前期20 後期20 その他10	前期 2月25日	国 地歴公民 数 理外	『国』 『世B』、『日B』、『地理B』、『倫・政経』から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』、『(工)※』から1 『物』と『化』 『英』 〔5教科7科目〕	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」、「化基礎・化」から1	120 120	センター試験	100	100	200	200	200			800	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
				理外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・ 英語表現Ⅱ」	90	個別学力 検査			200	200	200			600	
							計	100	100	400	400	400			1400	
				数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物・化基礎・化」	120 120	センター試験	100	100	200	200	250			850	
	後期 3月12日	国 地歴公民 数 理外	『国』 『世B』、『日B』、『地理B』、『倫・政経』から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』、『(工)※』から1 『物』と『化』 『英』 〔5教科7科目〕	数			個別学力 検査			200	300				500	
							計	100	100	400	500	250			1350	
工学部 機械システム工学科 50人 前期25 後期15 その他10	前期 2月25日	国 地歴公民 数 理外	『国』 『世B』、『日B』、『地理B』、『倫・政経』から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』、『(工)※』から1 『物』と『化』 『英』 〔5教科7科目〕	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」	120 120	センター試験	100	100	200	200	200			800	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
				理外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・ 英語表現Ⅱ」	90	個別学力 検査			200	200	100			500	
							計	100	100	400	400	300			1300	
				数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」	120 120	センター試験	100	100	200	200	250			850	
	後期 3月12日	国 地歴公民 数 理外	『国』 『世B』、『日B』、『地理B』、『倫・政経』から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』、『(工)※』から1 『物』と『化』 『英』 〔5教科7科目〕	数			個別学力 検査			200	300				500	
							計	100	100	400	500	250			1350	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等										特別選抜 方法等	
		教 科	科 目 名 等	教 科	科 目 名 等	時 間	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	総 合	小 論 文	配 点 合 計		
工学部 電子システム工学科 50人 前期25 後期15 その他10	前 期 2月25日	国	『国』 「世B」,「日B」,「地理B」,『倫・政経』 から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』,「(工)※」 から1 「物」と「化」 『英』	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	120 120 90	センター試験 個別学力 検査	100	100	200	200	200			800	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		理															500
		外															1300
		計															
人間文化 学部 地域文化 学科 60人 前期30 後期18 その他12	後 期 3月12日	国	『国』 「世B」,「日B」,「地理B」,『倫・政経』 から1 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』,「(工)※」 から1 「物」と「化」 『英』	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物基礎・物」	120 120	センター試験 個別学力 検査	100	100	200	200	250			850	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		理															400
		外															1250
		計															
人間文化 学部 地域文化 学科 60人 前期30 後期18 その他12	前 期 2月25日	国	『国』 「世B」,「日B」,「地理B」,「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』 「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』,「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』,「(工)※」 から1 「物基礎」,「化基礎」,「生基礎」,「地学基礎」から2 または「物」,「化」,「生」,「地学」から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 〔4(5)教科5(6)科目〕	国	「国語総合・現代文B・古典B」 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	90 90	センター試験 個別学力 検査	100	200	*100	*100	100			500	推薦 帰国子女 外国人 追加合格	
		理															400
		外															900
		計															
	後 期 3月12日	国	『国』 「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』,「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』,「(工)※」 から1 「物基礎」,「化基礎」,「生基礎」,「地学基礎」から2 または「物」,「化」,「生」,「地学」から1 『世B』,「日B」,「地理B」,「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』 「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』,「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』,「(工)※」 から1 「物基礎」,「化基礎」,「生基礎」,「地学基礎」から2 または「物」,「化」,「生」,「地学」から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 〔3(4)教科4(5)科目〕	その他	小論文	120	センター試験 個別学力 検査	*100	200	*100	*100	100			400		
		数															200
		理															
		地歴 公民 外															600

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等										特別選抜 方法等	
		教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	時間	試験の区分	国語	地歴 公民	数 学	理 科	外 国 語	総 合	実 技	小 論 文		配点 合計
人間文化 学部 生活デザイン 学科 30人 前期15 後期9 その他6	前期 2月25日	国	『国』 「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』 から1 「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』,「数Ⅱ」,「数Ⅱ・数B」,『簿』, 『情報』,(「工」※) から1 「物基礎」,「化基礎」,「生基礎」,「地学基礎」 から2 または「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 [5教科5(6)科目]	国	「国語総合・現代文B」	60	センター 試験	100	100	100	100	100				500	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
		外		外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	90	個別学力 検査	200				200				400	
							計	300	100	100	100	300				900	
	後期 3月12日	国	『国』 「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』 から1 「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』,「数Ⅱ」,「数Ⅱ・数B」,『簿』, 『情報』,(「工」※) から1 「物基礎」,「化基礎」,「生基礎」,「地学基礎」 から2 または「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 [4教科4(5)科目]	その他	デッサン（形の表現力,観察力, 創作力,理解力を、鉛筆描写に よって総合的にみる。）	180	センター 試験	*100	*100	*100	*100	100				400	
理			理			個別学力 検査					300				300		
外						計	*100	*100	*100	*100	100	300			700		
人間文化 学部 生活栄養 学科 30人 前期15 後期9 その他6	前期 2月25日	国	『国』 「世B」,「日B」,「地理B」,『倫・政経』 から1 「数Ⅰ・数A」,『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』, （「工」※） から1 「物」,「化」,「生」 から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 [5教科5科目]	理 外	「化基礎・化」 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	120 90	センター 試験	100	100	100	100	100				500	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
		数		数			個別学力 検査				200	200				400	
		理 外					計	100	100	100	300	300			900		
	後期 3月12日	国	『国』 「世B」,「日B」,「地理B」,『倫・政経』 から1 「数Ⅰ・数A」,『数Ⅱ・数B』,『簿』,『情報』, （「工」※） から1 「物」,「化」,「生」 から1 『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』 から1 [5教科5科目]	理	「物基礎・物」,「化基礎・化」, 「生基礎・生」 から1	120	センター 試験	50	50	100	100	200				500	
数			数			個別学力 検査				200				200			
理 外						計									200		
							計	50	50	100	300	200				700	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等								特別選抜 方法等			
		教 科	科 目 名 等	教 科	科 目 名 等	時 間	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	総 合		実 技	小 論 文	配点 合計
人間文化 学部 人間関係 学科 30人 前期15 後期9 その他6	前 期 2月25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、 「情報」、「(工)※」 から1 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」 から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」 から1 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 〔5教科5(6)科目〕	国	「国語総合・現代文B」	60	センター 試験	100	100	100	100	100				500	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
		理 外		外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	90	個別学力 検査	200				200				400	
							計	300	100	100	100	300				900	
	後 期 3月12日	国 地歴 公民 数	『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、 「情報」、「(工)※」 から1 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」 から1 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 〔3教科3(4)科目〕	その他	小論文	120	センター 試験	*100	*100	*100	*100	100				300	
		理 外					個別学力 検査						200			200	
人間文化 学部 国際コミュニ ケーション 学科 50人 前期25 後期15 その他10	前 期 2月25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、 「簿」、「情報」、「(工)※」 から1 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」 から1 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 〔4教科4(5)科目〕	国	「国語総合・現代文B」	60	センター 試験	100	100	*100	*100	250				550	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
		理 外		外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	90	個別学力 検査	200				200				400	
							計	300	100	*100	*100	450				950	
	後 期 3月12日	国 地歴 公民 数	『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1 『英』	その他	小論文	120	センター 試験	100	100			250				450	
		理 外					個別学力 検査								200	200	
							計	100	100			250				650	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等								特別選抜 方法等			
		教 科	科 目 名 等	教 科	科 目 名 等	時 間	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	総 合		実 技	面 接	配 点 合 計
人間看護 学部 人間看護 学科 70人 前期40 後期10 その他20	前 期 2月25日	国	『国』	外	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	90	センター試験	100	100	100	100	100				500	
		地歴公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1														
		数	「教Ⅰ」、「教Ⅰ・数A」、「教Ⅱ」、「教Ⅱ・数B」、「簿」、 『情報』、(「工」※) から1														
			理	「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」 から2 または「物」、「化」、「生」 から1				個別学力検査									100
		外	『英』 [5教科5(6)科目]				計	100	100	100	100	200				600	
	後 期 3月12日	国	『国』	その他	面接(グループ)	30	センター試験	100	100	100	100	200				600	
		地歴公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1														
		数	「教Ⅰ」、「教Ⅰ・数A」、「教Ⅱ」、「教Ⅱ・数B」、「簿」、 『情報』、(「工」※) から1														
			理	「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」 から2 または「物」、「化」、「生」 から1				個別学力検査							50	50	
		外	『英』 [5教科5(6)科目]				計	100	100	100	100	200			50	650	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (注1) 外国語の「英語」はリスニングを含みます。
(注2) 「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限ります。
(注3) 「工業数理基礎」を選択解答できる者は、旧教育課程履修者※であって、高等学校または中等教育学校においてはこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限ります。
(注4) 指定された教科（又は科目）の範囲内で、必要とする教科（又は科目）数を超えて受験している場合、得点の高い教科（又は科目）の得点を採用します。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科②」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

※旧教育課程履修者（および新教育課程履修者）とは、次表に示すとおりです。

新教育課程履修者	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月に卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記（新教育課程履修者）以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学試験検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者または修了見込者、在外教育施設修了者または修了見込者、および高等学校等を平成28年3月卒業見込であるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

【個別学力検査等】欄

- (注1) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲から出題します。数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
(注2) 人間文化学部生活デザイン学科、人間関係学科および国際コミュニケーション学科における「国語総合」の出題範囲には古典（古文、漢文）を含みません。
(注3) 本学では、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学（提供大学）の入試過去問題を使用して出題する場合があります。また、入試過去問題を使用する際には、そのまま使用すること、一部改変することもあります。
「入試過去問題活用宣言」についての詳細および参加大学の一覧については、ホームページアドレス：<http://www.nyushikakomon.jp>にて公表しています。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- (注1) 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
(注2) 大学入試センター試験の外国語の「英語」は「筆記（200点満点）」と「リスニング（50点満点）」の合計（250点満点）を学科の傾斜配点に換算して利用します。

V 特別選抜

A 推薦入学選抜

1 出願資格

次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としします。

ただし、環境科学部環境政策・計画学科、環境科学部環境建築デザイン学科（造形実技選択者を除く）、工学部材料科学科、工学部機械システム工学科、工学部電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、人間文化学部生活栄養学科を志願する者については、平成28年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者であって、次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としします。

(1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者
 - ② 「推薦入学B」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上を取得した者または取得見込みの者
 - ③ 通常の課程による12年の学校教育を平成27年度中に修了または修了見込みの者
 - ④ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成27年度中に修了または修了見込みの者
 - ⑤ 各種学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
- ※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の**平成27年10月16日（金）**までに
教務グループ入試室（電話0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。

(2) 地域等の条件・・・次のいずれかに該当する者

- ① 滋賀県内の学校を平成27年度中に卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者
- ② 入学の1年前（平成27年4月1日）から引き続き本人または保護者（親権者）が滋賀県内に居住している者

(3) 学科に対する適性の条件

人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としします。

2 推薦人数

出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入学A・Bを含め2名までとしします。

ただし、人間看護学科は3名までです。

3 出願期間・選抜期日および合格発表

学 部 名	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
環 境 科 学 部	平成27年11月2日（月）～ 平成27年11月9日（月）	平成27年11月22日（日）	（総合問題（造形実技）を課す学部・学科）
工 学 部			平成27年12月8日（火）
人間文化学部			（大学入試センター試験を課す学部・学科）
人間看護学部			平成28年2月10日（水）

4 選抜方法

学 部 ・ 学 科 名	選 抜 方 法
環境科学部 環境生態学科 環境建築デザイン学科 (造形実技選択者) 人間文化学部 生物資源管理学科 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	大学入試センター試験を免除し、総合問題(または造形実技)および評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境政策・計画学科 環境建築デザイン学科 (センター試験選択者) 工学部 材料科学科 機械システム工学科 電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科 生活栄養学科	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。

(1) 試験および面接の時間

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① 総合問題または造形実技 | 120分 |
| ② 個別面接 | 10分程度(口頭試問を実施する場合を除く) |
| ③ グループ面接 | 30分程度 |

(2) 試験科目・面接の方法・配点

【推薦入学A】

環境科学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
環境生態学科	総合問題(100)	個別面接(100)	
環境政策・計画学科	センター試験(600)	個別面接(600)	注1
環境建築デザイン学科	センター試験(600)	個別面接(600)	注1, 注2
	造形実技(600)	個別面接(600)	
生物資源管理学科	総合問題(100)	個別面接(100)	

工学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
材料科学科	センター試験(600)	個別面接(200)	注1, 注3
機械システム工学科	センター試験(800)	個別面接(200)	注1
電子システム工学科	センター試験(800)	個別面接(200)	注1

人間文化学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
地域文化学科	総合問題(100)	個別面接(100)	注3
生活デザイン学科	センター試験(400)	個別面接(200)	注1, 注3
生活栄養学科	センター試験(400)	個別面接(100)	注1
人間関係学科	総合問題(100)	個別面接(100)	
国際コミュニケーション学科	総合問題(100)	個別面接(100)	注3

人間看護学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
人間看護学科	総合問題(200)	グループ面接(100)	注4

【推薦入学B】

工 学 部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
材 料 科 学 科	センター試験(600)	個別面接(200)	注1, 注5
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	センター試験(700)	個別面接(300)	注1, 注6
電 子 シ ス テ ム 工 学 科	センター試験(800)	個別面接(400)	注1, 注5

(3) 試験科目の内容

総合問題は、英語力を問う設問が出題されるほか、志望する学科において履修上必要と考えられる基礎的な学力を測る設問が出題されます。

造形実技は、デッサンボード（B3サイズ）に、鉛筆を用いて描写する方法により、デッサン、基礎造形などの描写能力および表現能力を測る設問が出題されます。

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目は別表1（21～23ページ）のとおりです

注2 環境科学部環境建築デザイン学科は、出願時にセンター試験または造形実技のいずれかを選択することとし、次の募集区分により人員を定め、合格者を決定します。

(1) センター試験・・・5名

(2) 造 形 実 技・・・5名

ただし、(1)または(2)の募集区分において、合格者が募集人員に満たない場合は、各区分の人員を超えて合格者を決定する場合があります。

注3 工学部材料科学科、人間文化学部地域文化学科、生活デザイン学科および国際コミュニケーション学科は、個別面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに添った口頭試問を実施します。

注4 人間看護学部人間看護学科のグループ面接は、当日の面接試験前に発表するテーマについて、グループ討論の形式で行います。

注5 工学部材料科学科および電子システム工学科は、個別面接時にアドミッション・ポリシーに沿った口頭試問を実施します。

注6 工学部機械システム工学科は、個別面接時に数学および物理に関する口頭試問を実施します。

(別表1) 平成28年度入学者特別選抜における大学入試センター試験利用教科・科目 等

【推薦入学A】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等	大学入試センター試験の配点等				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 合計
環境科学部	環境政策・計画学科	『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から2 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1	100	100	200	100	600
		外国語 『英』					
		『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物」、「化」、「生」、「地学」から2	100	100	100	200	600
	環境建築デザイン学科 (大学入試センター試験選択者)	外国語 『英』					
工学部	材料科学科	『国』 「世B」、「日B」、「地理B」 から1 『倫・政経』 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 「物」と「化」	50	50	200	200	600
		外国語 『英』					
		『国』 「世B」、「日B」、「地理B」 から1 『倫・政経』 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 「物」と「化」					
	機械システム工学科	『国』 「世B」、「日B」、「地理B」 から1 『倫・政経』 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 「物」と「化」	100	100	200	200	800
		外国語 『英』					

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等	大学入試センター試験の配点等				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語
工学部	電子システム工学科	『国』 「世B」、「日B」、「地理B」 から1 『倫・政経』 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 「物」と「化」 『英』 [5教科7科目]	100	100	200	200	200
		『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1 [4教科4(5)科目]	*100	*100	*100	*100	100
人間文化学部	生活デザイン学科	『国』 「世B」、「日B」、「地理B」 から1 『倫・政経』 『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』から1 「物」、「化」、「生」から1 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1 [5教科5科目]	50	50	100	100	100

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】欄

(注1) 外国語の「英語」はリスニングを含みます。

(注2) 「簿記会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限ります。

(注3) 指定された教科(又は科目)の範囲内で、必要とする教科(又は科目)数を超えて受験している場合、得点の高い教科(又は科目)の得点を採用します。ただし、「地理歴史」、「公民」および「理科②」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

【推薦入学B】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等	大学入試センター試験の配点等				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 合計
工学部	材料科学科	国語 『国』 数学 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 理科 『物』と『化』 外国語 『英』 [4教科6科目]	50		200	250	100 600
	機械システム工学科	国語 『国』 数学 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 理科 『物』 外国語 『英』 [4教科5科目]	100		200	200	200 700
	電子システム工学科	国語 『国』 地歴 『世B』、『日B』、『地理B』 から1 公民 『倫・政経』 数学 『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 理科 『物』と『化』 外国語 『英』 [5教科7科目]	100	100	200	200	200 800

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】欄

(注1) 外国語の「英語」はリスニングを含みます。

(注2) 「簿記会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限ります。

(注3) 指定された教科(又は科目)の範囲内で、必要とする教科(又は科目)数を超えて受験している場合、得点の高い教科(又は科目)の得点を採用します。ただし、「地理歴史」、「公民」および「理科②」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

B 帰国子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者です。

ただし、環境科学部環境政策・計画学科、環境科学部環境建築デザイン学科、工学部材料科学科、工学部機械システム工学科、工学部電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、人間文化学部生活栄養学科を志願する者については、平成28年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者で、日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を平成26年4月1日から平成28年3月31日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、平成28年3月卒業見込みの者
- (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成26年4月1日以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成26年4月1日以降に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
- (5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成26年4月1日以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの

(注) (1)および(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされません。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

学 部 名	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
環 境 科 学 部	平成27年11月2日(月)～ 平成27年11月9日(月)	平成27年11月22日(日)	(総合問題を課す学部・学科)
工 学 部			平成27年12月8日(火)
人間文化学部			(大学入試センター試験を課す学部・学科)
人間看護学部			平成28年2月10日(水)

3 選抜方法

学 部 ・ 学 科 名	選 抜 方 法
環境科学部 環境生態学科 人間文化学部 生物資源管理学科 人間文化学部 地域文化学科 人間文化学部 人間関係学科 人間看護学部 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境政策・計画学科 工学部 環境建築デザイン学科 工学部 材料科学科 工学部 機械システム工学科 工学部 電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科 人間文化学部 生活栄養学科	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。

(1) 試験科目・面接の方法・配点

環境科学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
環 境 生 態 学 科	総合問題(100)	個別面接(100)	
環 境 政 策 ・ 計 画 学 科	センター試験(600)	個別面接(600)	
環 境 建 築 デ ザ イ ン 学 科	センター試験(400)	個別面接(400)	
生 物 資 源 管 理 学 科	総合問題(100)	個別面接(100)	

工 学 部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
材 料 科 学 科	センター試験(600)	個別面接(200)	
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	センター試験(800)	個別面接(200)	
電 子 シ ス テ ム 工 学 科	センター試験(800)	個別面接(200)	

人間文化学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
地 域 文 化 学 科	総合問題(100)	個別面接(100)	
生 活 デ ザ イ ン 学 科	センター試験(300)	個別面接(150)	
生 活 栄 養 学 科	センター試験(300)	個別面接(100)	
人 間 関 係 学 科	総合問題(100)	個別面接(100)	
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	総合問題(100)	個別面接(100)	

人間看護学部	試験科目(配点)	面接方法(配点)	備 考
人 間 看 護 学 科	総合問題(200)	個別面接(100)	

(注) ・大学入試センター試験の利用教科・科目は別表2(26～27ページ)のとおりです。

- ・総合問題の試験時間は、120分とします。
- ・総合問題には、英語力を問う設問を含みます。
- ・工学部材料科学科、人間文化学部地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科および国際コミュニケーション学科は、面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに添った口頭試問を実施します。

(別表2) 平成28年度入学者特別選抜における大学入試センター試験利用教科・科目 等

【帰国子女特別選抜】

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等	大学入試センター試験の配点等				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語
環境科学部	環境政策・計画学科	『国』 『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から2 『英』 [3教科4科目]	200		200		200
	環境建築デザイン学科	『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 『物』、『化』、『生』、『地学』から2 『英』 [3教科4科目]			100	200	100
工学部	材料科学科	『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 『物』と『化』 『英』 [3教科5科目]			200	250	150
	機械システム工学科	『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 『物』と『化』 『英』 [3教科5科目]			300	300	200
	電子システム工学科	『数Ⅰ・数A』と 『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』 から1 『物』と『化』 『英』 [3教科5科目]			300	300	200

学部名	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目等	大学入試センター試験の配点等				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語
人間文化学部	生活デザイン学科	国語 『国』 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ」、「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ」、「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物基礎」、「化基礎」、「生基礎」、「地学基礎」から2 または「物」、「化」、「生」、「地学」から1 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 [3教科3(4)科目]	*100	*100	*100	*100	100
	生活栄養学科	数学 『数Ⅰ・数A』、『数Ⅱ・数B』、『簿』、『情報』から1 「物」、「化」、「生」から1 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 [3教科3科目]			100	100	100

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】欄

(注1) 外国語の「英語」はリスニングを含みます。

(注2) 「簿記会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限ります。

(注3) 指定された教科(又は科目)の範囲内で、必要とする教科(又は科目)数を超えて受験している場合、得点の高い教科(又は科目)の得点を採用します。ただし、「地理歴史」、「公民」および「理科②」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

C 私費外国人留学生特別選抜

1 出願資格

次の(1)、(2)、(3)の要件をすべて満たしている方です。

- (1) 日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成28年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 本学において個別の入学資格審査により上記に準ずる資格を有すると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
- (2) 在留資格が「留学」である者、または入学時に「留学」を取得できる見込みの者
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度第1回日本留学試験(6月)を受験した者または平成27年度第2回日本留学試験(11月)に出願して受理された者

※1 (1)の②により出願を希望する者については、出願前の平成27年10月16日(金)までに教務グループ入試室(電話0749-28-8217・8243)へ連絡し、入学資格審査を受けてください。

※2 日本留学試験の利用教科・科目等については、別表3「日本留学試験の利用教科・科目等一覧」(29ページ)を参照し、必要な科目を受験してください。

2 出願期間・選抜期日および合格発表

	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
環境科学部 工 学 部 人間文化学部	平成27年11月2日(月)～ 平成27年11月9日(月)	平成27年11月22日(日)	平成28年1月26日(火)

3 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、平成27年度日本留学試験(第1回または第2回)の成績、出願書類ならびに本学が行う学力検査および面接の結果を総合して選抜します。

ただし、環境科学部環境建築デザイン学科は、平成27年度日本留学試験(第1回または第2回)の成績、出願書類および面接の結果を総合して選抜します。

(学力検査の内容)

環 境 科 学 部 (環境生態学科、生物資源管理学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語力を問う設問を含みます。

(環境政策・計画学科) ……英 語 (60分)

工 学 部 (材料科学科・機械システム工学科・電子システム工学科) ……英 語 (60分)

人間文化学部 (地域文化学科、人間関係学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語を課しません。

(国際コミュニケーション学科) ……総合問題(120分)

※総合問題には、英語力を問う設問を含みます。

(生活デザイン学科) ……デッサン(120分)

※デッサンは、形の観察力、表現力、構成力を鉛筆描写によって表現する。

(生活栄養学科) ……英 語 (60分)

※工学部材料科学科、人間文化学部地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科および国際コミュニケーション学科は、面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに添った口頭試問を実施します。

4 その他

日本留学試験の詳細については、下記へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構（留学生事業部留学試験課）

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457

別表3 日本留学試験の利用教科・科目等一覧

		利 用 教 科 ・ 科 目						出題言語	英 語 科 目 の 対 応
		日本語	総合科目	数 学	理 科				
					物理	化学	生物		
環 境 科 学 部	環境生態学科	○		コース自由選択	2科目自由選択			自由選択	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)
	環境政策・計画学科	○	○	コース自由選択	2科目自由選択			日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	環境建築デザイン学科	○		コース2	2科目自由選択			日本語	英語は課さない。
	生物資源管理学科	○	○	コース自由選択	2科目自由選択			自由選択	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)
工 学 部	材料科学科	○		コース2	○	○		日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	機械システム工学科	○		コース2	○	○		日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	電子システム工学科	○		コース2	○	○		日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
人 間 文 化 学 部	地域文化学科	○	○					日本語	英語は課さない。
	生活デザイン学科	○	○	コース自由選択				日本語	英語は課さない。
	生活栄養学科	○				○	○	日本語	個別学力試験の中で英語を課す。
	人間関係学科	○	○					日本語	英語は課さない。
	国際コミュニケーション学科	○	○					日本語	個別学力試験(総合問題に英語問題を入れる。)

注意)  環境政策・計画学科、生物資源管理学科では、総合科目か理科のどちらかを選択すること。

VI 心身に障がいのある入学志願者との事前相談

心身に障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める障がいの程度)がある入学志願者は、受験上および修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前に本学教務グループまで相談してください。

(後日配布する学生募集要項を参照してください。)

また、一般選抜試験により本学へ入学を志願する受験生のうち、体幹および両上下肢の機能障がいが著しい者で、大学入試センター試験で代筆解答を希望する者は、大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に、本学教務グループ入試室へ相談してください。

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
滋賀県立大学 教務グループ 入試室
TEL 0749-28-8217・8243 FAX 0749-28-8472

Ⅶ 学生募集要項の発表時期および請求方法

この要項のほか、出願に必要な学生募集要項は次のとおり発表・配布の予定です。
 なお、学生募集要項（一般選抜）はテレメールを使用して請求することができます。

1 本学へ直接請求する場合

学生募集要項を本学に直接請求する場合は、封筒の表に下記の「募集要項請求の種類」の中から該当する名称を朱書きし、裏には住所、氏名、連絡先電話番号を明記して、レターパックライト（返信先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入したもの）または返信用封筒（角形2号に返信先の郵便番号、住所、氏名を明記して、下記送料分の切手を貼付したもの）を同封の上、請求してください。

募集要項請求の種類	配布時期	送 料
学生募集要項（一般選抜）＋大学案内	11月上旬	600円
学生募集要項（特別選抜）＋大学案内	8月上旬	400円
学生募集要項（一般選抜）	11月上旬	400円
学生募集要項（特別選抜）	8月上旬	250円

※滋賀県内の高等学校等に対しては、推薦入学試験出願用の学生募集要項（特別選抜）を、別途送付します。

請求先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 滋賀県立大学教務グループ入試室 宛
 TEL 0749-28-8217・8243

2 テレメールを使用して請求する場合(配布開始は11月上旬)

①次のいずれかの方法で、テレメールにアクセスしてください。

インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）の場合	自動音声応答電話の場合
 http://telemail.jp	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付）
 バーコード ※スマホ・ケータイで左のバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に12円です。 ※住所氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

※本学のホームページ（<http://www.usp.ac.jp>）もテレメールのサイトへリンクされています。

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含)
学生募集要項【一般選抜】	584502	400円
学生募集要項【一般選抜】＋大学案内	544502	600円

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。（テレメールのパスワードをお持ちの場合は、登録不要です。）

※請求から2～3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円）。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※一般入試募集要項は、自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応（レターパック）で請求受付を行います。一部の地域を除き1～2日で資料が届きます。

速達対応の料金は、上記②に記載の料金とは異なりますので、テレメールの資料請求画面でご確認ください。

入学資格審査の手続き

次に該当する者で個別の入学資格審査を希望する者は、必ず申請する前に本学教務グループ入試室に相談してください。

1 申請資格

本学の個別の入学資格審査を受けることができる者は、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 我が国における12年の学校教育の高等学校に対応する外国人学校の課程を卒業した者および平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 上記以外の者で各種の学校等における学習歴や単位修得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると認められる者

なお、いずれの場合も入学しようとする年度の開始までに18歳に達した者とする。

2 申請期日

平成27年9月1日（火）まで（午後5時必着）

※ ただし、大学入試センター試験を受験した者で、新たに本学の受験を希望するものに限って、平成28年1月20日（水）（午後5時必着）まで受け付けます。

3 申請書類

- (1) 申請者が上記の申請資格(1)に該当する場合

- ①入学資格認定申請書（本学所定の用紙）
- ②卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
- ③調査書または成績証明書等（出身学校等の長が作成し厳封したもの）
- ④出身学校等の教育内容等が確認できる学則、カリキュラム、授業時間数一覧等で、修業年限、教育課程、授業時間数、授業科目、必要な単位数が明記されているもの
- ⑤返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所、氏名を明記し、書留速達郵便による返信用切手（792円）を貼付したもの）

- (2) 申請者が上記の申請資格(2)に該当する場合

- ①入学資格認定申請書（本学所定の用紙）
- ②各種の学校等における学習歴や単位修得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると確認できる書類。
なお、社会においての実務経験があればその事実を確認できる書類も併せて添付すること。
（卒業証明書、単位修得証明書、実務経験証明書、技能検査合格証明書等）
- ③出身学校等の教育内容等が確認できる学則、カリキュラム、授業時間数一覧等で、修業年限、教育課程、授業時間数、授業科目、必要な単位数が明記されているもの
- ④返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所、氏名を明記し、書留速達郵便による返信用切手（792円）を貼付したもの）

4 提出先および問い合わせ先

滋賀県立大学 教務グループ入試室 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
TEL 0749-28-8217・8243

※ 申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし、封筒表に「入学資格認定申請」と朱書してください。

5 審査方法

滋賀県立大学の専門委員会において、申請者の提出された書類をもって高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

なお、提出された書類以外に必要な応じ追加の書類の提出を求めることがあります。

6 審査結果の通知

審査結果は、申請者宛に郵送により通知します。

7 入学者選抜試験の受験について

「滋賀県立大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願し、受験することができます。出願の際は必ずこの「滋賀県立大学入学資格認定書」のコピーを提出してください。

8 その他

この個別の入学資格審査による認定は、入学者選抜とは別個のものです。

平成28年度 滋賀県立大学 入学資格認定申請書

		※整理番号	
滋賀県立大学長 宛		平成 年 月 日	
貴学への入学を希望しますので、入学にかかる出願資格の認定に必要な所定の書類を添えて申請します。			
ふりがな 氏 名		男・女	
生年月日		年 月 日生	
現 住 所	〒 電話 () -		
緊急時連絡先	〒 電話 () -		
学歴（小学校または同等の教育施設入学から記入すること。）			
	年 月 入学～	年 月	卒業 その他 ()
	年 月 入学～	年 月	卒業 その他 ()
	年 月 入学～	年 月	卒業・卒業見込 その他 ()
学習歴（専修学校、各種学校等における学習歴や大学の科目履修等の修得単位など個人の学習歴を記入）			
	年 月 ～	年 月	卒業・卒業見込 その他 ()
	年 月 ～	年 月	卒業・卒業見込 その他 ()
	年 月 ～	年 月	卒業・卒業見込 その他 ()
社会における実務経験等			
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
資格・免許等			
	年 月 日 第 号		
	年 月 日 第 号		

(注)

- 1 学歴、学習歴欄に学校名等を記入する場合は、卒業、卒業見込み、その他のいずれかを○で囲み、その他に○を付した場合は () 内に中退等の具体的な内容を記入すること。
- 2 社会における実務経験等欄に記入する場合は、その活動内容、貢献その他特記すべき事項については、証明する書類を添えること。
- 3 資格・免許等欄に記入する場合は、その名称、取得年月日、番号を記入すること。また、そのコピーを添えること。
- 4 ※印欄は記入しないこと。
- 5 記入欄が不足する場合は、この用紙を複写して使用すること。

平成 2 8 年 度 大 学 入 学 者 選 抜 方 法 の 概 要

平成 2 8 年 度 滋 賀 県 立 大 学 入 学 者 選 抜 方 法 等	i
平成 2 8 年 度 特 別 選 抜 方 法 等	iii

平成28年度滋賀県立大学入学者選抜方法等

(一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試)

選 抜 方法等 学部・ 学科名			個 別 学 力 検 査 等							専門高校・総合学科卒業生選抜							アドミッ ション・ オフィス 入試	個 別 学力検 査等の 日程	備考 (欠員の 補充の 方法等)	
			個別 学力 検査を 課する	実技検査等				2段階選抜		個別 学力 検査を 課する	実技検査等				募集 人員					
				実技 検査を 課する	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	主として、調査書 の内容と大学入試 センター試験の成 績により第1段階 選抜を行い、その 合格者について更 に必要な検査等を行 う	第1段階の選抜 による合格者数		定員 に対 する 倍率	その 他	実技 検査を 課する	面接 を行 う		小論 文を 課す る				外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る
環 境 科 学 部	環境生態学	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	環境政策・ 計画学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	環境建築 デザイン学 科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
工 学 部	生物資源 管理学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	材料学	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	機械シ ステム工 学	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
人 間 文 化 学 部	電子シ ステム工 学	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	地域文化 学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	生活デザ イン学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
	生活栄養 学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
人間関 係学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃			
	後期 日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃			
	国際コ ミュニ ケーション 学	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		
人間看護 学部	人間看護 学科	前期 日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	〃		
		後期 日程	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	〃		

(注) 各項目について、該当するものに○印、該当しないものに×印を付した。

別紙様式 2 (その 2)

平成 28 年度滋賀県立大学入学者選抜方法等 (特別選抜)

学部・学科名		選 抜 方法等	推 薦 入 学							推薦入 学募集 人 員	帰 国 子 女、 社会人等のための 特 別 選 抜			備考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する											
			個別学力 検査を免除し、大 学入試セ ンター試 験を課する	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免除する	実 技 検 査 等									
					実技検査を課 する	面 接 を行う	小論文を課す る	外国語 におけるリス ニングテスト を課する	その他 (総合問題)					
環境 科 学 部	環境生態学科	×	○	×	○	×	×	○	6	○	×	×		
	環境政策・計画学科	○	×	×	○	×	×	×	8	○	×	×		
	環境建築デザイン学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	×	センター試験又は実技試験を選択	
		×	○	○	○	×	×	×						
	生物資源管理学科	×	○	×	○	×	×	○	12	○	×	×		
工 学 部	材料科学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	×		
	機械システム工学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	×		
	電子システム工学科	○	×	×	○	×	×	×	10	○	×	×		
人 間 文 化 学 部	地域文化学科	×	○	×	○	×	×	○	12	○	×	×		
	生活デザイン学科	○	×	×	○	×	×	×	6	○	×	×		
	生活栄養学科	○	×	×	○	×	×	×	6	○	×	×		
	人間関係学科	×	○	×	○	×	×	○	6	○	×	×		
	国際コミュニケーション学科	×	○	×	○	×	×	○	10	○	×	×		
人 間 看 護 学 部	人間看護学科	×	○	×	○	×	×	○	20	○	×	×		

(注) 各項目について、該当するものに○印、該当しないものに×印を付した。

平成 28 年度 特別選抜方法等（推薦入学）
（大学入試センター試験免除）

滋 賀 県 立 大 学

実施学部・学科名	環境科学部（環境生態学科、環境建築デザイン学科（造形実技選択者）、生物資源管理学科） 人間文化学部（地域文化学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科） 人間看護学部（人間看護学科）		
募集人員	環境科学部	環境生態学科 環境建築デザイン学科 （造形実技選択者） 生物資源管理学科 人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	【推薦入学 A】 6 人 5 人 1 2 人 1 2 人 6 人 1 0 人 2 0 人 【推薦入学 B】 — — — — — — —
出願要件	次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者としてします。 (1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者 ② 「推薦入学 B」は、高等学校の職業に関する学科もしくは総合学科を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上を取得した者または取得見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を平成27年度中に修了または修了見込みの者 ④ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成27年度中に修了または修了見込みの者 ⑤ 各種学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの ※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の平成27年10月16日までに教務グループ入試室（電話0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。 (2) 地域等の条件・・・次のいずれかに該当する者 ① 滋賀県内の学校を平成27年度中に卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者 ② 入学の1年前（平成27年4月1日）から引き続き本人または保護者（親権者）が滋賀県内に居住している者 (3) 学科に対する適性の条件 人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としてします。 （注） 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入学 A・B を含め2名までとします。 ただし、人間看護学科は3名までです。		
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題（または造形実技）および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。 ※環境科学部環境建築デザイン学科は、出願時に造形実技または大学入試センター試験利用のいずれかを選択します。		
出願期間	平成27年11月 2日（月）～平成27年11月9日（月）		
選抜期日	平成27年11月22日（日）		
合格発表日	平成27年12月 8日（火）		
その他	詳細は「学生募集要項《特別選抜》」による。		

平成 28 年度 特別選抜方法等（推薦入学）
（大学入試センター試験利用）

滋 賀 県 立 大 学

実施学部・学科名	環境科学部（環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科(大学入試センター試験選択者)） 工学部（材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科） 人間文化学部（生活デザイン学科、生活栄養学科）		
募集人員	環境科学部	環境政策・計画学科 環境建築デザイン学科 (大学入試センター試験選択者)	【推薦入学A】 8人 5人 【推薦入学B】 － －
	工学部	材料科学科 機械システム工学科 電子システム工学科	若干名 若干名 若干名
	人間文化学部	生活デザイン学科 生活栄養学科	－ －
出願要件	平成28年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し受理された者で、次の(1)～(3)のいずれの条件にも該当し、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は必ず本学に入学することを確約できる者としします。 (1) 卒業等の条件・・・次のいずれかに該当する者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者 ② 「推薦入学B」は、高等学校の職業に関する学科もしくは総合学科を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上を取得した者または取得見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を平成27年度中に修了または修了見込みの者 ④ 大学入学資格が付与されている専修学校の高等課程の学科を平成27年度中に修了または修了見込みの者 ⑤ 各種学校を平成27年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの ※ (1)の⑤により出願を希望する者については、出願前の平成27年10月16日までに教務グループ入試室（電話0749-28-8217・8243）へ連絡し、入学資格審査を受けてください。 (2) 地域等の条件・・・次のいずれかに該当する者 ① 滋賀県内の学校を平成27年度中に卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者 ② 入学の1年前（平成27年4月1日）から引き続き本人または保護者（親権者）が滋賀県内に居住している者 (3) 学科に対する適性の条件 人物が優れ、志望する学科のアドミッション・ポリシーに対し適性を有し、学習意欲のある者としします。 (注) 出身学校長が推薦できる人数は、各学科ごとに推薦入学A・Bを含め2名までとしします。 ただし、人間看護学科は3名までです。		
選抜方法等	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。 ※環境科学部環境建築デザイン学科は、出願時に大学入試センター試験または造形実技のいずれかを選択します。		
出願期間	平成27年11月2日（月）～平成27年11月9日（月）		
選抜期日	平成27年11月22日（日）		
合格発表日	平成28年2月10日（水）		
その他	詳細は「学生募集要項《特別選抜》」による。		

平成 2 8 年度 特別選抜方法等（帰国子女）
（大学入試センター試験免除）

滋 賀 県 立 大 学

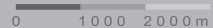
実施学部・学科名	環境科学部（環境生態学科、生物資源管理学科） 人間文化学部（地域文化学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科） 人間看護学部（人間看護学科）
募集人員	各学部学科若干名
出願要件	日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する方です。 (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め 2 学年以上継続して学校教育を受け、12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者 (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2 年以上継続して学校教育を受け、12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第 3 学年に編入学を認められた者で、平成 28 年 3 月卒業見込みの者 (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成 26 年 4 月 1 日以降に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの (4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 26 年 4 月 1 日以降に取得した者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの (5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 26 年 4 月 1 日以降に授与された者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの （注）（1）および（2）において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされない。
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および出願書類などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出願期間	平成 2 7 年 1 1 月 2 日（月）～平成 2 7 年 1 1 月 9 日（月）
選抜期日	平成 2 7 年 1 1 月 2 2 日（日）
合格発表日	平成 2 7 年 1 2 月 8 日（火）
その他	詳細は「学生募集要項《特別選抜》」による。

平成 28 年度 特別選抜方法等（帰国子女）
（大学入試センター試験利用）

滋 賀 県 立 大 学

実施学部・学科名	環境科学部（環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科） 工学部（材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科） 人間文化学部（生活デザイン学科、生活栄養学科）
募集人員	各学部学科若干名
出願要件	平成28年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を登録し受理された者で、日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する方です。 (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を平成26年4月1日から平成28年3月31日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者 (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、平成28年3月卒業見込みの者 (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成26年4月1日以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの (4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成26年4月1日以降に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの (5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成26年4月1日以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの (注) (1)および(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされない。
選抜方法等	大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の成績および出願書類などにに基づく面接の結果を総合して選抜します。
出願期間	平成27年11月 2日（月）～平成27年11月9日（月）
選抜期日	平成27年11月22日（日）
合格発表日	平成28年 2月10日（水）
その他	詳細は「学生募集要項《特別選抜》」による。

大学周辺マップ



- ## 大学周辺マップ
- 0 1000 2000m
- ### ● JR南彦根駅から大学まで
- バスで15分（南彦根駅西口：彦根県立大学線）
- タクシーで10分
- ### ● JR彦根駅から大学まで
- バスで25分（彦根駅：彦根県立大学線）
- タクシーで15分
- ### ● 名神彦根ICから大学まで
- 車で20分（6.5km）
-

- ## 交通アクセス
- 0 10 20k
- JR南彦根駅まで
JR京都駅から普通で60分
JR名古屋駅から快速で80分
(米原駅で乗り継ぎ)
 - JR彦根駅まで
JR京都駅から新快速で50分
新幹線で30分(米原駅で乗り継ぎ)
JR名古屋駅から新幹線で35分
(米原駅で乗り継ぎ)
JR金沢駅から特急で120分
(米原駅で乗り継ぎ)
-
- The map illustrates the transportation network connecting major Japanese cities to Himeji and Hikari. It shows the JR Tokaido Shinkansen line running from Tokyo (東京) through Kyoto (京都), Maibara (三浦), and Shinjiko (新木子) to Himeji (彦根). The JR Tokaido Main Line (JR東海道本線) is shown as a solid line, and the JR Shikoku Main Line (JR四国本線) is shown as a dashed line. Other lines include the JR San'in Main Line (JR山陰本線), the JR Kinki Main Line (JR近畿本線), and the JR Chugoku Main Line (JR中国本線). The map also shows the JR Tokaido Shinkansen (JR東海道新幹線) and the JR Tokaido Main Line (JR東海道本線) connecting to the JR Tokaido Shinkansen (JR東海道新幹線) at Maibara (三浦) and Shinjiko (新木子). The map includes a scale bar from 0 to 20 km and a legend for the different line types.



公立大学法人

滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

Tel.0749-28-8217・8243 Fax.0749-28-8472

ホームページアドレス <http://www.usp.ac.jp/>

E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp

この印刷物は古紙パルプを配合しています。